



INDEX

会長挨拶、学長挨拶、役員名簿	P2
岩手大学創立70周年記念事業	P3
同窓会連合の活動状況	P4~5
各同窓会の活動状況	P6~7
岩手大学の情報	P8

岩手大学同窓会連合会長挨拶

会長 小笠原 義文



岩手大学の卒業生・修了生の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。このたび、渡邊喬前会長の後任として会長を仰せつかりました。

大学と共催事業である「卒業生・修了生と学長との懇談会」は12回目を迎え、今年は岩手大学北桐ホールにおいて開催しました。当日は不來方祭も開催されており、沢山の同窓生並びに市民の方々にご出席いただき、学長はじめ役員・副学長及び各学部長たちから大学の教育・研究・社会貢献の現況報告を拝聴するとともに、学部の垣根を超えて同窓生の絆を深めるよい機会となりました。

また、同窓会連合は岩手大学創立70周年記念の節目に、校章に表されて学生歌にも謳われている桐の木を贈呈することを決定し、12月10日、学生たちの目に付くキャンパス内3か所で記念植樹を行いました。成長するのが早いと言われる桐の木ですが、名木になって岩手大学の隆盛を末永く見守ってくれることを祈っています。

同窓会で大学は変わるとも言われます。今後も岩手大学の発展に寄与するとともに地域社会に貢献出来るよう努めますので重ねてご支援、ご協力をお願い申し上げます。

岩手大学長挨拶

学長 岩淵 明



本学は、1949年6月に新製の国立大学として誕生し、今年創立70周年を迎えました。10月19日には、ご来賓、同窓生をはじめ多くの関係者出席のもと創立70周年記念事業である記念講演会、記念式典、記念祝賀会を開催することができました。11月14日には国際シンポジウムを開催し、岩手大学外国人留学生同窓会も設立されました。国内のみならず世界各国の同窓生とのネットワークが構築されることを願っています。

同窓会連合はじめ同窓生の皆様からは、東日本大震災の復興活動をまとめた記録誌の発行などの創立70周年記念事業に対し、多大なるご寄付を頂戴しました。さらに同窓会連合からは大学の象徴

の桐の木をご寄贈いただき、12月10日に記念植樹を行いました。同窓生の皆様の母校への変わらぬ熱い想いに、教職員一同感謝しているところです。桐の木の成長とともに岩手大学が益々発展できるよう努力しなければいけないと思っております。学長として掲げた“アイデンティティの涵養”が、まさに達せられた感があります。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

私は、2020年3月をもって退任しますが、今後とも母校岩手大学に変わらぬご支援をお願い申し上げます。

岩手大学同窓会連合役員名簿 (2019年12月現在)

【役員】

役職	氏名	職名等
会長	小笠原義文	北桐会会長
副会長	遠藤 隆	七友会会長
	清水 健司	一祐会会長
	鈴木 幸一	北水会会長
監事	小野寺 融	一祐会
	石川 格	北水会

【理事会理事】

職名等	氏名
会長	(北桐会会長) 小笠原義文
副会長	(七友会会長) 遠藤 隆
	(一祐会会長) 清水 健司
	(北水会会長) 鈴木 幸一
各同窓会理事	七友会 鈴木 護
	北桐会 藁谷 収
	一祐会 平原 英俊

職名等	氏名
各同窓会理事	北水会 伊藤 菊一
岩手大学学長	岩淵 明
〃 理事・副学長	小川 智
〃 人文社会科学部長	山本 昭彦
〃 教育学部長	遠藤 孝夫
〃 理工学部長	船崎 健一
〃 農学部長	倉島 栄一



岩手大学創立70周年記念事業

2019年10月19日(土)



記念講演会

本学第一体育館を会場に本学教育学部卒業生若竹千佐子氏(第158回芥川賞受賞作家)が『おらはおらにしたがう〜自己決定権を持つ生き方〜』というタイトルで対談形式で学生時代のエピソードを交えながら語られました。



記念式典

記念講演会に引き続き、記念式典を挙行了しました。岩渕学長の挨拶に続いてご来賓からご祝辞を頂戴した後、日頃、本学の教育研究及び社会貢献活動に多大なるご貢献、ご尽力を頂いている方々に感謝の気持ちを込め、感謝状を贈呈させていただきました。



式典の最後には、70周年を記念し制作した祝典序曲及び記念歌『虹の翼』を披露しました。特設合唱団には岩渕学長も加わり、盛況のうちに閉会しました。



記念祝賀会

ホテルメトロポリタン盛岡NEW WINGで祝賀会を行いました。岩渕学長の挨拶の後、同窓会連合会長、各学部同窓会会長にもご登壇いただき鏡開きを行い、平山健一元学長ご発声のもと創立70周年を祝って乾杯しました。途中、岩手大学さんさ踊り実行委員会がさんさ踊りを披露し、輪踊りでは一緒に踊る参加者もいて盛り上がりました。



小笠原同窓会連合会長が末広りの縁起の良い五本締めで会を閉めました。同窓生にも多数ご参加いただき盛大にお祝いすることができました。

2019年11月14日(木)～15日(金)



「グローバル人材で未来創造」国際シンポジウム

11月14日、岩手大学復興祈念銀河ホールを主会場に17大学・研究機関の海外協定校から学長・副学長等を招いて学長フォーラムを開催し、グローバルな人材育成及び国際的な学術交流の促進等について、議論を深めるとともに、大学間における情報交換を行いました。



午後には学部等毎に7つの分科会を開催し、その一つである岩手大学外国人留学生同窓会設立大会&懇談会では、世界各国で活躍している留学生OB・OGとの連携を強化するため岩手大学外国人留学生同窓会が設立されました。

2019年10月16日(水)～11月15日(金)

岩手大学ミュージアム特別企画展

「岩手大学震災復興活動展2019

— Build Back Better —

東日本大震災発災からの時間経過に沿って本学の震災復興支援の取組を紹介する特別企画展を開催しました。写真やパネルのみならず、三陸沿岸地域ものづくり企業様との共同研究開発品や、三陸沿岸地域での農業復興に向けて栽培を進めている園芸作物、三陸沿岸地域の水産加工企業様との共同開発品等の実物資料の展示を行いました。



2018年度事業報告について

1. 理事会の開催

- 第19回：2018年6月20日（水）
 議題1. 2017年度事業報告について
 2. 2017年度決算について
 3. 2018年度事業計画について
 4. 2018年度予算について など

2. 運営委員会の開催

計4回開催（2018年5月10日（木）、10月30日（火）、2019年1月25日（金）、2月21日（木））

3. 「卒業生・修了生と学長との懇談会（第11回）」の開催

大学と共に主催し、懇談会及び懇親交流会を開催した。
 【内容】大学側から大学の現状と取組状況の紹介、意見交換など

日時：2018年7月28日（土） 15時～
 開催場所：東京ガーデンパレス（東京都文京区）
 参加者：85名

4. 会報の発行

2018年12月 第10号発行
 （掲載内容）2018年岩手大学の主な取組、2017年度事業報告、卒業生・修了生と学長との懇談会（第11回）の報告、各同窓会の情報、大学の情報 など

5. ガンダイニングへの協賛

岩手大学紹介番組「ガンダイニング」（IBC岩手放送）への協賛を行った。

【主な放送内容】
 研究室紹介、運動部の活躍、大学行事の紹介 など
 【放送日時等】

2018年10月2日（火）～2018年12月25日（火）
 毎週火曜日／18：55～（3分間） 計13回放送
 （同日再放送 24：55～（3分間））

2019年1月27日（日） 特別版（1時間）放送

6. 岩手大学イーハトーヴ基金への協力呼びかけ

在学生を支援する基金「イーハトーヴ基金」に対する協力呼びかけをホームページ、同窓会連合会報で行った。

7. 卒業式・修了式への支援

卒業式・修了式（2019年3月22日（金））に祝い花を贈った。

2019年度事業計画と実施状況について

1. 理事会の開催

- 第20回：2019年5月31日（金）
 議題1. 2018年度事業報告について
 2. 2018年度決算について
 3. 卒業生・修了生と学長との懇談会（第12回）について
 4. 2019年度事業計画について
 5. 2019年度予算について
 6. 次期会長等の選出について など

2. 運営委員会の開催

計3回開催（2019年4月23日（火）、10月23日（水）メール会議、12月11日（水））

3. 「卒業生・修了生と学長との懇談会（第12回）」の開催

大学と共に主催し、懇談会を開催した。
 【内容】大学側から大学の現状と取組状況の紹介、意見交換など

日時：2019年10月19日（土） 10時～
 開催場所：岩手大学総合教育研究棟（教育系）2階北桐ホール（岩手県盛岡市）
 参加者：89名

4. 会報の発行

会報第11号を発行する。

5. ガンダイニングへの協賛

岩手大学紹介番組「ガンダイニング」（IBC岩手放送）への協賛を引き続き実施する。

6. 岩手大学イーハトーヴ基金への協力呼びかけ

在学生を支援する基金「岩手大学イーハトーヴ基金」に対する協力呼びかけをホームページ等で行う。

7. 卒業式・修了式への支援

卒業式・修了式に祝い花を贈る。

《2018年度 岩手大学同窓会連合 決算》

【収入の部】

（単位：円）

項目	予算額	決算額	差引額	備考
会費収入	1,200,000	1,200,000	0	4同窓会×300,000円
前年度の繰越金	2,887,908	2,887,908	0	
一時金戻し入れ	65,000	65,000	0	懇談会会費おつり用一時金
その他収入	29	24	△5	利息
計	4,152,937	4,152,932	△5	

【支出の部】

（単位：円）

項目	予算額	決算額	残 額	備考
事業費	1,971,000	1,873,841	97,159	①卒業生・修了生と学長との懇談会への協力 1,163,217（旅費、八ガキ代、会場費等補助） ②会報の発行 429,624（印刷費） ③ガンダイニングの協賛費 162,000 ④卒業式・修了式への祝い花 54,000 ⑤懇談会会費おつり用一時金 65,000
会長活動経費	30,000	2,052	27,948	
会議費	6,000	1,470	4,530	（理事会用お茶代）
事務費	14,000	7,128	6,872	（振込手数料）
予備費	2,131,937	0	2,131,937	
計	4,152,937	1,884,491	2,268,446	

収入決算額－支出決算額＝繰越額 4,152,932－1,884,491＝2,268,441

卒業生・修了生と学長との懇談会 (第12回) の開催

2019年10月19日(土)、岩手大学総合教育研究棟(教育系)北桐ホールを会場に「卒業生・修了生と学長との懇談会(第12回)」が開催されました。この懇談会は、2008年度から毎年実施されており、今年度は、岩手大学創立70周年記念事業の一つとして、岩手大学創立70周年記念講演会・記念式典と同日に開催され、同窓生69名の参加がありました。

懇談会では、岩淵明学長及び小笠原義文同窓会連合会長兼北桐会会長からの挨拶に続き、小川智理事・副学長、各学部長、藪敏裕副学長、浅部喜幸起業家支援室特命教授から大学・各学部及び学部を越えた取組について説明がありました。さらに現役学生3名から留学経験や学内カンパニー(教育で得た知識を实践する場として学生の自由な発想でチャレンジすることができるバーチャルな企業)の活動の様子について紹介がありました。続く質疑応答・意見交換では、近年の大学の取組など参加者から意見や質問が寄せられ有意義な時間となりました。

懇談会の最後には、各同窓会長から挨拶があり、最近の活動についての報告などがありました。

次回の開催日、会場については決まり次第ホームページ(<http://alumni.iwate-u.ac.jp/>)に掲載いたします。



挨拶する岩淵学長



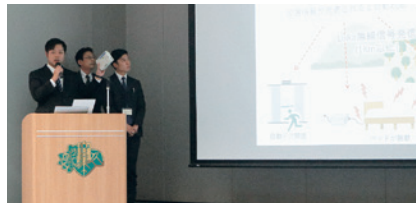
挨拶する小笠原会長



集合写真



留学経験を説明する大平さん(農学部4年)



説明する学内カンパニーAnonas Lighting 社長 高橋さん(総合科学研究科1年)



説明する学内カンパニー岩手大学研磨工業 代表 小野寺さん(教育学研究科1年)

同窓会連合から岩手大学へ桐贈呈

岩手大学同窓会連合は、岩手大学創立70周年の記念すべき節目の機会に、岩手大学の学章及び学生歌でも謳われ岩手大学を象徴している桐の木を岩手大学に3本贈呈しました。2019年12月10日(火)に、小笠原同窓会連合会長、各学部同窓会会長、岩淵学長、小川理事・副学長出席のもと記念植樹が行われました。学生、教職員が行き交う事務局前、理工学部、農学部へ植樹された桐の木は、大学の発展と学生の成長を10年、20年と見守り続けます。



植樹する小笠原会長



桐の木を囲んで記念撮影

ガンダイニングへの協賛について

岩手大学同窓会連合では、岩手大学の様々な活動やあまり知られていない魅力を卒業生や地域の皆様に知ってもらい、より親しまれる大学になれるよう岩手大学を応援するために、岩大を紹介するテレビ番組「ガンダイニング」の協賛を行っています。

この番組は、大学内の様々な取組や研究、学生の姿を紹介する番組で、今年で第15回を数えます。アシスタントナビゲーターを務めるお馴染みの岩手大学イメージキャラクター「がんちゃん」をはじめ、現役の岩手大学生がリポーターを務め、大学の「いま」を元気に伝えています。今年のリポーターは、学内カンパニー i-Connect に所属している学生2名です。

リポーターの真田さん(左)と大友さん(右)



【2019年度放送日程】

●IBC岩手放送 ●2019年10月1日～12月24日 ●毎週火曜日 18:55～ ●計13回

※今年度放送した分については、以下のページからご覧いただけます。

■岩手大学ホームページ <https://www.iwate-u.ac.jp/about/public/gandaining.shtml>

■岩手大学公式Youtubeチャンネル <https://www.youtube.com/channel/UC8ua2BprbPKSvGSMYwK1aOA>



HP



Youtube

七友会

人文社会科学部 同窓会
Shichiyukai

《活動報告》

今年度も現役学生に対する就職活動支援、同窓会会報『七友会だより』の発行、評議員会の開催と活動を進めてまいりました。

◆就職活動支援

人文社会科学部の学部生を対象として、2019年2月（第12回）と6月（第13回）に、「進路選択セミナー」が七友会・人文社会科学部就職委員会の共催により行われました。第12回は、国家公務員から市役所職員に転職し、様々な部署で公務員の枠を超えた活動に携わってきた同窓生と、テレビ局記者の同窓生が講師を務めました。お二人とも在学中の経験が進路選択にどうつながったのか、さらに就職活動を進める上で、希望の進路選択を達成するために、どのような点に注意すべきか実践的なアドバイスをいただきました。また第13回講師は、銀行に勤務する同窓生と県職員の同窓生がつとめました。社会人となる前となってからの仕事に対するイメージの違いについて説明いただくともに、熟考・決断・行動によって選択した進路に対して持てる納得感について、具体的にお話しいただきました。

◆会員への情報提供

同窓会会報『七友会だより』第48号を3月に発行しまし

た。またインターネット上での情報提供手段として七友会の公式web「七友会.net」(<http://www.shichiyukai.net/>)が運営されています。岩手大学や同窓会のニュース、イベントの告知をはじめとして、同窓会に関する情報を提供しており、『七友会だより』も過去にさかのぼって閲覧することができます。

◆評議員会の開催

2019年度の評議員会は、岩手県公会堂26号室において、6月22日（土）に開催されました。事業の報告と計画、決算と予算、について決定がなされました。

◆OBの活躍

遠藤隆氏（1期）制作の「山懐に抱かれて」が第73回文化庁芸術祭のテレビドキュメンタリー部門で優秀賞を受賞しました。また受賞作を再編集した劇場映画も県内・全国各地で上映され、好評となりました。



©テレビ岩手

一祐会

理工学部 同窓会
Ichiyukai

《活動報告》

2019年5月17日（金）に岩手大学復興記念銀河ホールにおいて2019年度一祐会定期総会が開催され、一祐会は理工学部と連携による寄附金募集活動について検討した結果、学生に対する修学支援、理工学部等の教員への研究支援及び教育研究環境整備等をより一層推進することとなりました。講演会では岩手県知事達増拓也氏より「岩手のこれからの10年における展望と岩手大学理工学部への期待」の講演をいただきました。総会后、理工学部食堂において懇親会が盛大に行われました。



一祐会定期総会 懇親会(2019年5月17日)

《学生会員支援》

一祐会学生会員支援事業として、定期総会と同日に一祐会主催で、岩手大学卒業生による「企業合同説明会(43企業)」を開催し、当日は延



一祐会主催「企業合同説明会(43企業)」(2019年5月17日)

べ人数160名の学生参加があり、卒業生からは就職相談、会社説明など学生の質問に丁寧に答えていただき、将来を考える学生には企業からの情報を得る有意義な機会となりました。

《会員への情報提供》

2019年3月1日会誌「北杜」67号を発行しております。今年度から岩手大学内の学生向けに工学部、理工学部同窓生が就職された企業を広くPRするため、一祐会館内へ企業名プレートを設置して、企業から一祐会活動をご支援をいただくこととなりました。2020年度一祐会定期総会は2020年5月16日（土）に東京で開催し、同日同会場で機械系東京支部「東機会」、建設系東京支部「きたかみ会」、金属物性系東京支部、化学系東京支部「みよし会関東支部」、電気電子情報系東京支部「岩手大学電気電子情報科会東京支部」の支部総会も開催されます。



一祐会館内への企業名PR板の設置

北桐会

教育学部 同窓会
Hokutoukai

令和元年となった本年度の北桐会は、6月29日盛岡市内のホテルにおいて第60回評議員会を開催し、2019年度の事業計画、予算、役員補選等について協議の上了承されました。当日は来賓として遠藤孝夫教育学部長から、現在の教育学部の活動、現状をご説明いただきました。

さて、過去にもこの紙面や北桐会会報で紹介しましたが、2016年度から全国的な大学改革に伴う改組によって、所謂ゼロ免課程・新課程（生涯教育課程と芸術文化課程）は廃止となり、学部定員は250名から160名に減少となりました。2019年3月には最後の新課程卒業生を送り出しました。この記事執筆している私も生涯教育課程・スポーツ教育コースの卒業ということもあり、寂しい気持ちはありますが、教育学部及び人文社会科学部に機能を二分することとなった芸術・スポーツ分野のより一層の活躍と、学部本来の目的である教員養成に重点を置き、更なる充実を期待するところです。

今年度の卒業生・修了生と学長との懇談会（第12回）は岩手大学創立70周年記念事業の一つとして、北桐会の名のついた「北桐ホール」で開催され、会員の多くの皆様にご出席いただきました。同時に、記念講演会・式典が開催され、同窓生である若竹千佐子さん（第158回芥川賞受賞者・昭和52年国語科卒業）に教育学部の今野日出晴教授と対談形式で、学生時代のエピソードを交えながらご講演いただきました。お忙しいところご来学いただき併せて御礼申し上げます。

また、今年度は小笠原会長の提案で、北桐会常任理事と岩



若竹千佐子さん(前列左)を囲んで
教育学部 今野日出晴教授(前列右)、北桐会事務局のメンバー(後列)

手大学に勤務している同窓生事務職員との懇親会を開催し、本会の活動に理解を深めていただきました。事務職員同士でも同窓生であることを知らない人も多く、新鮮で有意義な会となりました。

少し早いかもしれませんが、4年後となった北桐会創立70周年の記念行事について常任理事会で話題となり、諸準備を進めてまいります。

今後も北桐会の活動を盛り上げ、母校の発展と現役学生及び同窓生の活躍の一助となるよう努めますのでご理解とご支援をよろしくお願い致します。

北桐会常任理事 古川洋

(平成19年生涯教育課程・スポーツ教育コース卒業)

北水会

農学部 同窓会
Hokusuikai

●北水会発足100周年記念事業への取組

盛岡高等農林学校が1903年（明治36年）5月に開学し、1920年（大正9年）には、盛岡高農同窓会則が制定（4月）、同窓会報第1号が発行（12月）されました。1952年（昭和27年）には、様々な議論沸騰の中、また、数多くの候補の中から「北水会」と改称され、北水会報第1号が発行（7月）されました。

そしていよいよ、2020年（令和2年）には、盛岡高農同窓会則の制定と会報第1号の発行から、めでたく100周年を迎えることとなります。

北水会として大きな節目を迎えるに当たり、新たな100年先を見据えながら、① 100年間の内で才学非凡なる偉人顕彰事業（『同窓生が語る宮澤賢治』刊行出版事業・記念講演）や、② 100年間の内で顕著に社会貢献した研究開発事業の記念モニュメント設置事業などの検討を進めておりますのでご紹介いたします。

(1) 式典・講演会及び祝賀会：2020年（令和2年）6月26日（金）
午後1時半から

場所：ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング

- ▶ 講演会：県内外に在住のOB・OGによるミニ講演と鼎談
- ▶ 復興祈念ミニコンサート：東日本大震災津波をはじめ、全国で頻発する災害からの復興を祈って。

(2) 記念事業

- ① 北水会報連載「同窓生が語る宮澤賢治」の刊行出版・会員への頒布
- ② 北水会報記念特別号発行（第139号：2020年（令和2年）秋発行）
- ③ 「活躍するOB・OGの講演会」開催支援：農学部との連携の

もと開催を支援

- ④ モニュメント等の設置：岩手大学農学部発のリンゴ「はるか」を顕彰しつつ、賢治とリンゴの関わりをイメージさせるモニュメントの設置、「北水会と北水の池」の説明板設置など
- ⑤ その他：後輩の研究・研修や育成に資する支援等

●記念事業募金へのご協力をお願い

記念事業を実施するに当たり、皆さまからご支援を賜りたく、「北水会発足100周年記念事業募金」を創設し、募金活動を行っております。

趣旨をご理解いただき、ご支援を賜りますようお願いいたします。

(1) 募金方法：一口5,000円（上限なし）

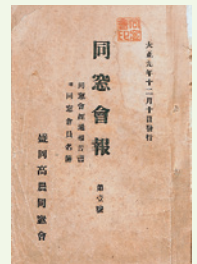
目標金額：3,000万円

募集期間：2019年（令和元年）8月～2020年（令和2年）6月（予定）

(2) 払込方法：盛岡上田郵便局に口座を開設

口座名：北水会発足100周年記念事業募金

口座記号番号：02260-2-127768



釜石キャンパスに 総合教育研究棟(水産系)が 落成しました

7月1日に岩手県、釜石市の全面的な協力のもと、三陸沿岸の主要産業である水産業の復興と、持続的な発展に資する高度専門人材の育成を行うことを目的に、釜石キャンパス内に総合教育研究棟(水産系)を整備しました。

総合教育研究棟(水産系)を人材育成の場としてだけでなく、漁協や企業等との共同研究や調査に活用することで、海洋・水産分野における研究活動の活性化をより促進させることを目指します。また、水産業の維持に向けて、沿岸地域の養殖技術と大学の人材育成を継続的にマッチングさせる仕組みも整備していく予定です。



完成した総合教育研究棟(水産系)(左の建物)

農学部附属動物病院に 全国初の動物園水族館 動物診療科を開設しました

4月22日、農学部附属動物病院に、全国初となる動物園水族館動物診療科を創設しました。主に動物園水族館で飼育展示されている野生種の動物や個人・動物展示施設で飼育されている家畜種(馬など)を診療対象とする専門診療科です。

希少種を含む動物園水族館の貴重な飼育展示動物に対し、動物福祉に配慮した高度な獣医療を提供するとともに、技術・学術の発展と人材育成が期待されています。



動物病院で盛岡動物公園のイヌワシを診療

岩手大学 イーハトーヴ基金のご案内

岩手大学は、多くの皆様からご協力いただいた「岩手大学学生支援基金」「岩手大学被災学生支援募金」等を引き継ぎ、「岩手大学イーハトーヴ基金」を創設しました。本基金は、本学の教育研究や学生支援を幅広く展開することを目的とした「一般基金」と、東日本大震災により被害に遭った学生たちへの修学支援など、用途を特定した「特定基金」で構成されます。

最新の特定基金情報、寄附の申込・払込方法については、お手数ですが、イーハトーヴ基金ホームページをご覧ください。

【岩手大学イーハトーヴ基金ホームページ】
<http://www.iwate-u.ac.jp/ihatovkikin/>

●お問い合わせ先
岩手大学総務部総務広報課
(平日:午前9時~午後5時)
〒020-8550
盛岡市上田三丁目18-8
TEL.019-621-6006
FAX.019-621-6014



岩手大学
イーハトーヴ基金

岩手大学公式ソーシャルメディア

岩手大学公式Facebook、YouTube、岩渕学長Twitterを更新中!岩手大学のニュース・イベント情報、ガンダインギの動画や岩渕学長の日々の出来事をお知らせしています。ぜひ覗いてみてください。



公式Facebook

◆岩手大学公式Facebook
<https://www.facebook.com/iwate.u>

◆岩手大学公式YouTubeチャンネル
<https://www.youtube.com/channel/UC8ua2BprbPkSvGSMYwK1aOA>



公式YouTube



岩渕学長Twitter

◆岩渕学長Twitter
https://twitter.com/iwate_u_ai2016

編集 後記

花ふ>みたる桐の葉を・・・で始まる学生歌は昭和26年から制作に向けて公募され、昭和28年に平田馨作詞・千葉了道作曲により制定されました。学章は藤原徳太郎により紫色の蕾を含んだデザインとして表現されています。どちらも岩手大学の象徴として永く学生間で愛されてきました。70周年の節目に学生歌と学章に込められた思いを改めて考えながら、本誌に紹介されています植樹された桐の木に、輝く未来を託したいと思えます。(W)

岩手大学同窓会連合会報 No.11
2019.12 発行
発行事務局
〒020-8550 盛岡市上田三丁目18-8
TEL.019-621-6015
FAX.019-621-6014
E-mail:dosokai@iwate-u.ac.jp
URL:<http://alumni.iwate-u.ac.jp/>